

## 北海道美唄市受動喫煙防止条例施行後、 市民の脳卒中＋急性心筋梗塞の発症が近隣地域と比較して有意に減少した

Saijo Y, Ido A, Sato Y, Yoshioka E, Yoshida T.

Acute myocardial infarction and stroke after the enactment of smoke-free legislation in public places in Bibai city: data analysis of hospital admissions and ambulance transports  
Hypertens Res. 2019 Nov;42(11):1801-1807 [原著](#) (許可を得て掲載)

邦題「美唄市受動喫煙防止条例施行による急性心筋梗塞・脳卒中発症率の変化：入院と救急搬送データによる解析」

西條泰明<sup>1</sup>、井門 明<sup>2</sup>、佐藤遊洋<sup>1</sup>、吉岡英治<sup>1</sup>、吉田貴彦<sup>1</sup>

<sup>1</sup>旭川医科大学 社会医学講座 <sup>2</sup>美唄市医師会

### 日本語要旨

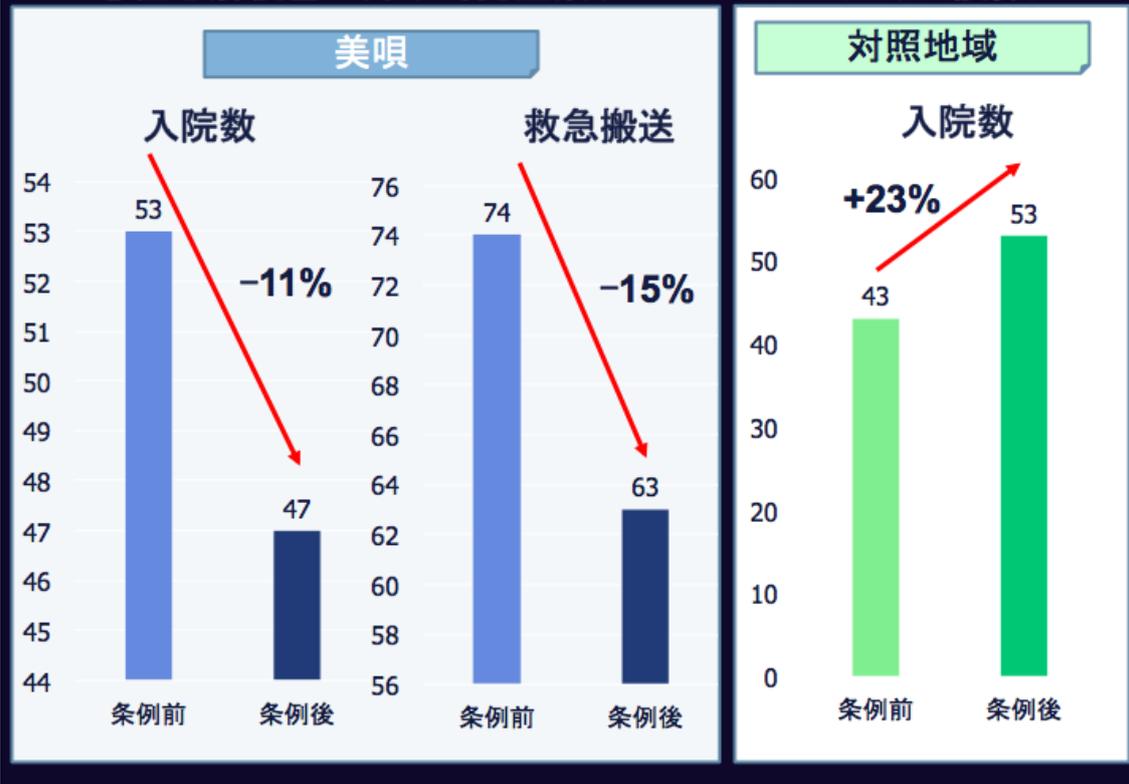
北海道美唄市において、受動喫煙防止条例が2016年7月より施行された。日本において、市レベルの受動喫煙防止条例が心・脳血管疾患イベントへ及ぼす効果についてはこれまで報告がない。

隣接する中空知医療圏を対照群として、診療記録より月ごとの急性心筋梗塞と脳卒中の入院数を把握した。また、両疾患での救急搬送数の調査も行った。条例施行前2年間と施行後2年間での比較を行った。

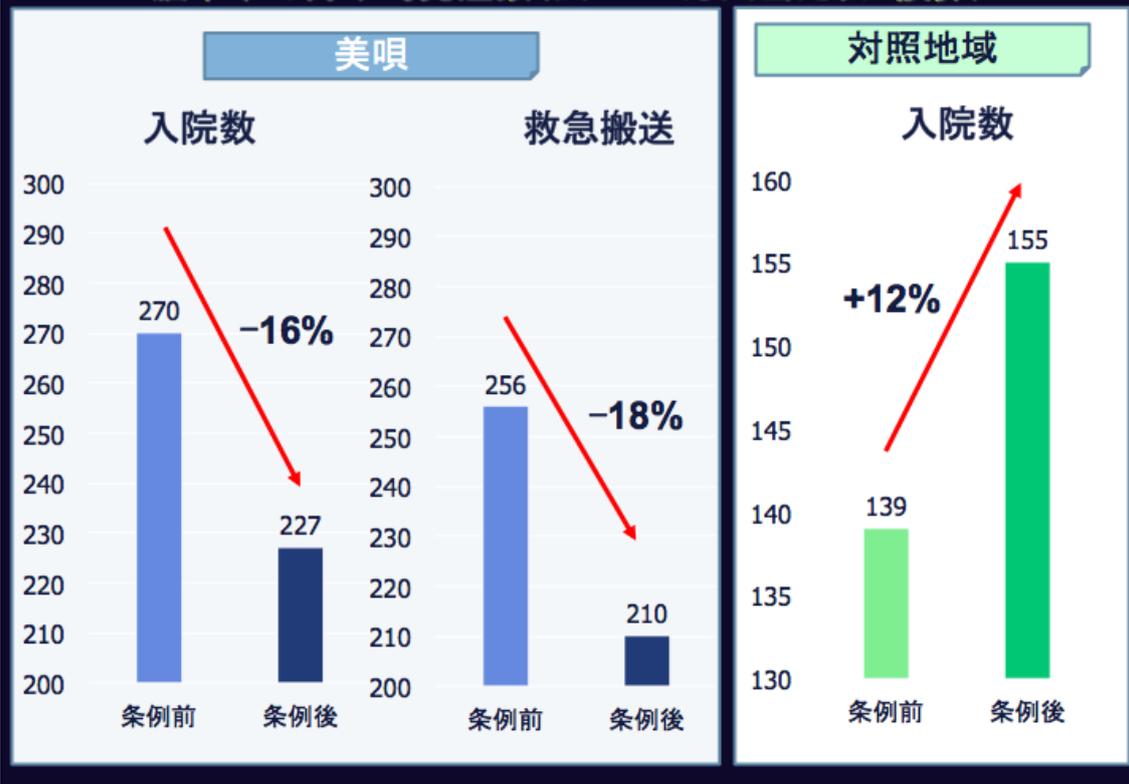
月平均の急性心筋梗塞と脳卒中の入院数、両者を統合した入院数、さらに救急搬送数のいずれも、美唄市では受動喫煙防止条例施行後に減少し、対照として設定した中空知医療圏では増加していた。

ポアソン回帰分析による、受動喫煙防止条例施行前後の美唄市の疾患発症数の比較では有意差を認めなかったが、美唄市と対照地域の交互作用の解析では、脳卒中入院数と心筋梗塞と脳卒中を統合した入院数は美唄市が有意に少なく、受動喫煙防止条例による心・脳血管疾患イベントの抑制効果を示唆する結果であった。

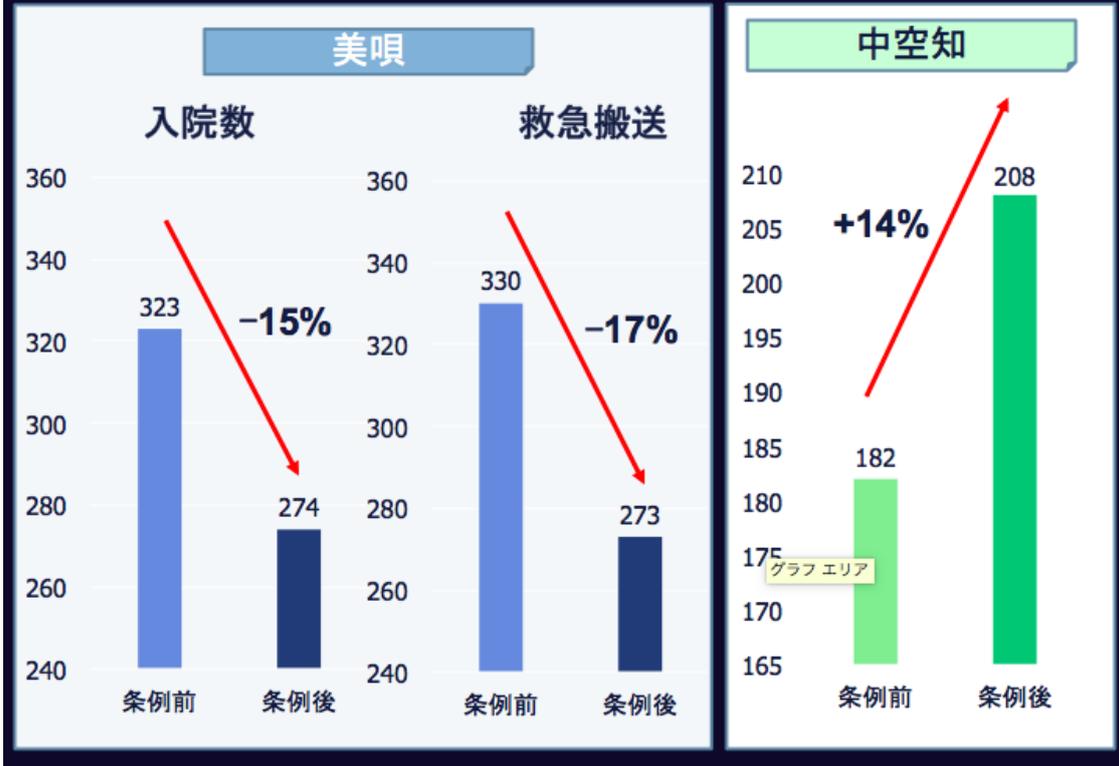
## 急性心筋梗塞の月平均発症数(人口10万人あたりに換算)



## 脳卒中の月平均発症数(人口10万人あたりに換算)

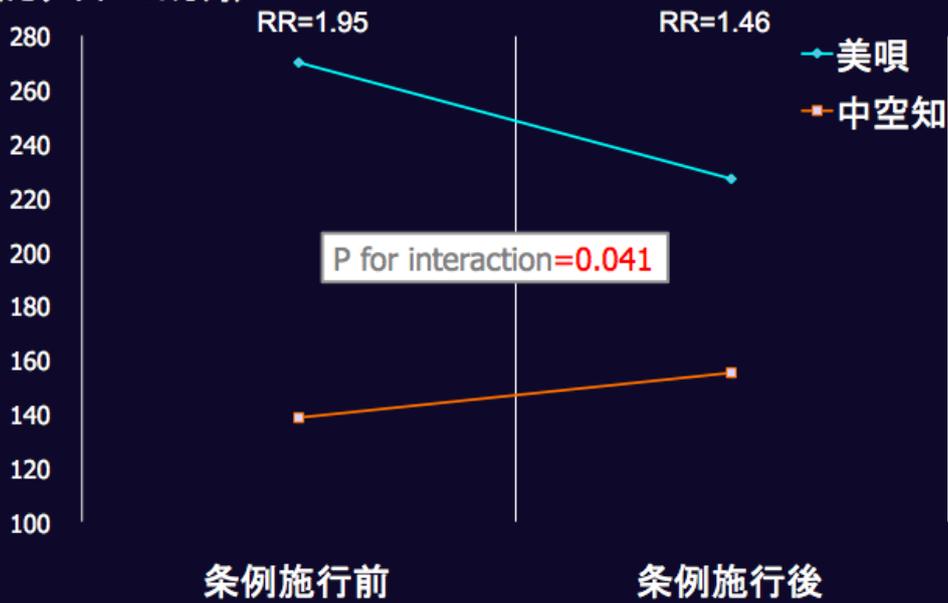


## 急性心筋梗塞・脳卒中の月平均発症数(人口10万人当たり)に換算)



## 条例施行と地域の交互作用の検討 脳卒中

(月当たり:人口10万対)



# 条例施行と地域の相互作用の検討 急性心筋梗塞+脳卒中

(月当たり:人口10万対)

